

## 弘前大学医学部附属病院で診療を受けられた皆様へ

当院では下記の臨床研究に用いるため、患者さんの試料・情報を利用させていただいておりますので、お知らせいたします。

**研究課題名：** 集中治療管理中の覚醒試験・離脱試験が予後に与える影響の検討

### 研究の目的

集中治療管理中、過度な鎮静や不必要な人工呼吸器の使用を避けるために覚醒試験や人工呼吸器離脱試験を施行することがあります。当院では2022年4月より、集中治療室入室中の人工呼吸器使用患者に対してプロトコールを使用した覚醒試験・離脱試験を行っております。プロトコールの導入に伴い、より早期の人工呼吸器離脱が予想されますが、その一方で術後経過への影響は検討されておられません。私たちは、プロトコール導入に伴うメリット・デメリットを明らかにし、より安全な覚醒試験・離脱試験のプロトコール作成を目的として今回の研究を行います。

**研究実施期間：** 2023年1月6日～2024年3月31日  
(倫理委員会承認日)

**対象となる方：** 2021年1月1日～倫理委員会承認日までの間、附属病院心臓血管外科科を受診し、心臓手術を受け、集中治療室に入室した方

### 利用させていただきたい試料・情報について

(他機関に提供する場合、提供先機関の名称及び当該機関の研究責任者氏名含む)

当院のカルテに記録されている情報のうち、手術時間や麻酔時間、人工呼吸器使用時間や集中治療室入室期間について、標記研究課題実施のために利用します。

具体的には、人工呼吸器使用時間と集中治療室入室期間についてプロトコールの導入前後で違いがあるかどうか検討します。そのほか、早期に人工呼吸器を離脱したことで合併症が増えているか、呼吸状態や循環動態への影響、せん妄や中枢神経系の合併症についても比較し、プロトコールが安全に施行されているか検討していきます。

なお、利用に当たっては氏名、住所、電話番号、患者番号等個人を特定できる情報を削除し、本研究のための固有の番号を付して(これを匿名化といいます)、行います。

研究成果については、学会発表や論文投稿等の方法で公表されますが、その内容から対象者個人が特定される事はありません。研究から得られた個別の結果については原則としてお答えしませんが、希望される方は下記連絡先までご連絡ください。

本研究課題について、より詳細な内容をお知りになりたい場合や、試料・情報の利用に同意いただけない患者さん/その代理人の方は、以下の連絡先までご連絡ください。

研究への利用に同意いただけない場合、当該患者さんの試料・情報については対象から除外します。ただし、連絡いただいた時点で既に研究成果公表済の場合は、該当者のデータの

みを削除する等の対応は出来かねますので、ご了承願います。

**本件連絡先**

大学院医学研究科麻酔科学講座・野口智子  
[0172-39-5113/nogusato1110@hirosaki-u.ac.jp](mailto:0172-39-5113/nogusato1110@hirosaki-u.ac.jp)